

和 浅野祥

三味線

“観客”

Hibiki

三味線 浅野祥
ピアノ、トランペット 曾根麻央
ヴァイオリン 西江辰郎
ヴァイオリン ビルマン聡平
ヴィオラ 生野正樹
チェロ 富岡廉太郎

三味線の可能性を追求する浅野祥の集大成。
和×クラシック×ジャズ 最強コラボレーション!!

Program

津軽じょんから節
北千島女工節
Miss my home
ほか

曾根 麻央

ピアノ、トランペット

Mao Sone, Piano Trumpet

2024. 9. 7 [土]

開演 14:00 (開場 13:30)

● 浜離宮朝日ホール

全席指定 ¥5,500(税込)

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
託児サービスをご利用ください。
【託児サービスのご予約】イベント託児・マザーズ：0120-788-222

お問い合わせ

チケット取り扱い

Mitt

03-6265-3201 (平日 12:00~17:00)

- ローソンチケット <https://l-tike.com/sho-asano/>
※PC/スマートフォン共通 (Lコード:32655)
ローソンミニストップ店内端末「Loppi」にて一般発売日以降直接購入可能
- チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/sho-asano/>
※PC/スマートフォン共通 (Pコード:259-298)
セブン・イレブン店内マルチコピー機にて一般発売日以降直接購入可能
- イープラス <https://eplus.jp/sho-asano/>
※PC/スマートフォン共通
ファミリーマート店内端末にて一般発売日以降直接購入可能
- 朝日ホール・チケットセンター <https://www.asahi-hall.jp/hamarikyu/>
03-3267-9990 (オペレーター対応 日・祝除く 10:00~18:00)
- MITT TICKET 03-6265-3201 (平日 12:00~17:00)

【主催】朝日新聞社／浜離宮朝日ホール／合同会社 Moon

MOON
PRODUCTIONS

浅野 祥

Sho Asano, Syamisen



祖父の影響により、3歳で和太鼓、5歳で津軽三味線を始める。その後、三絃小田島流二 二代目小田島徳旺氏に師事。7歳の時、青森県弘前市で開催される津軽三味線全国大会に最年少出場し、翌年から各級の最年少優勝記録を次々と塗り替える。2004年 津軽三味線全国大会、最高峰のA級で最年少優勝(当時14歳)その後、2006年まで連続優勝し、3連覇を達成。同大会の規定により、殿堂入りを果たす。※津軽三味線世界大会(旧大会名:津軽三味線全国大会)2007年17歳でビクターエンターテインメントより「祥風」でメジャーデビュー。以降、コンサートへボウ(オランダ)、ケネディ・センター(アメリカ)でのコンサートをはじめ、アメリカ、ヨーロッパ、カナダ、アジア各国でコンサートツアーを行うなど、海外に向けて積極的に発信する。民謡、Classic、Rock、Jazz、Pops、フラメンコなどジャンルにとらわれない演奏スタイルにより、石川さゆり、山下洋輔、宮沢和史、yamaなど、様々なアーティストとの共演を果たす。中学生時には元 BOOWY・高橋まこと(ドラム)とバンドを組んでいた。自身のアルバムでは世界的なミュージシャンとの創作にも取り組み、ジャズ界の巨匠ウィル・リー(ベース)や、同じくジャズ界の若きスタープレイヤー、マーカス・ギルモア(ドラム)、2度グラミー賞に輝いたリチャード・ストルツマン(クラリネット)らとアルバム制作を行う。和楽器奏者としては初めて日本最大級の音楽フェス「MONSTER baSH」に3年連続で出演するなど、様々なロックフェスやジャズフェスに出演。近年では「日本遺産×芸能」をテーマに掲げる文化庁主催「NOBODY KNOWS」への参加など、日本文化の掘り起しや普及にも積極的に取り組む。また、日本各地の民謡を現代の感覚で作編曲する「MIKAGE PROJECT」や複数の邦楽演奏家からなる「ART 歌舞伎楽団」に参加し、新たな音楽シーンを切り拓いている。愛用する三味線は三絃工房の「澄丹」。日本屈指の三味線メーカーである三絃工房と、2023年に三味線奏者として世界初のエンドースメント契約を締結。このように国内外に向けて日本の伝統文化である津軽三味線の魅力を発信していく活動が認められ、浅野の活動が令和元年より政府公式プログラム「beyond2020」の承認事業プログラムに正式決定した。本来の民謡、古典芸能の追及はもちろんのこと、幅広い世代に三味線の魅力を伝えるべく、津軽三味線の可能性を追い求める孤高の若き津軽三味線奏者。

曾根 麻央

Mao Sone, Piano Trumpet



幼少期よりピアノを、8歳でトランペットを始める。2016年には同大学の修士課程の第1期生として首席(summa cum laude)で卒業。在学中にはタイガー大越ダニーロ・ペレス、ジョー・ロバーノ、ジョン・パティトゥッチ、テリ・リン・キャリントン等に師事、また共演。在学中よりニューポート、モントレー、モントリオール、トロント、ドミニカ等の国際的なジャズ・フェスティバルに出演。2017年には自己のバンドを率いてニューヨークのブルー・ノートやワシントンDCのブルース・アレイ等に出演。2018年拠点東京に移しメジャーデビュー。2019年には見山紀芳の代役でNHK-FM「ジャズ・トゥナイト」の司会を担当。世界的トランペッター、タイガー大越のピアニストとして中国ツアーに参加。2021年には自身のバンド「Brightness of the Lives」がブルーノート東京出演を果たす。また Kevin Hefelin 監督作品「トランペット」の主演と音楽を担当し、世界各国の映画祭で賞を受賞する。

2022年には4年ぶりのリーダー作「Brightness of the Lives」をリリースし、雑誌「ジャズ・ジャパン」の表紙を飾るとともに、ジャズの聖地ブルーノート東京やビルボード大阪でリリースライブを開催し成功を収める。2022年7月からは6ヶ月連続でオリジナルアレンジのスタンダードナンバーをソロで録音した「Plays Standards」シリーズが配信開始となる。ホーンやストリングスのアレンジ等得意とし、これまで多数のアーティストサポートやポップスやクラシック等の幅広いジャンルのレコーディングに参加。その傍ら自ら作編曲した曲をYouTubeで発信するなど、国内外から多くのファンを獲得している。自身のバックグラウンドであるジャズを軸に、独自のスタイルを築く表現者として注目を集めるアーティストである。

生野 正樹

Masaki Shono, Viola



1978年大分県出身。14歳よりヴァイオリンを始め、大分県立芸術緑丘高校を経て、洗足学園音楽大学を首席で卒業、同大学大学院修了。内田博、岡田伸夫の各氏に師事。ザルツブルク・モーツァルト国際室内楽コンクールにて第2位入賞。日本演奏連盟のオーディションに合格、九州交響楽団と共演。ソロアルバムを三枚、四枚組BOXCD「ノスタルジック・メロディーズ」をWanar Music Japanより発売。これまでに東京フィル、東京シティフィル、神奈川フィル、広島交響楽団、山形交響楽団、大阪フィル、仙台フィルなど全国の主要オーケストラに客演首席として参加。2016年は活動を一時休止しドイツへ留学。2019年天皇陛下即位祝賀式典のオーケストラにてソルヴァイオラ奏者を務めた。現在はオーケストラへの客演を中心に室内楽、ソロ活動、また、葉加瀬太郎ツアーや様々なジャンルのレコーディングに参加。石田組、トリオAXIS、昂21弦楽四重奏団、東京グランドソロイストメンバー、RENTARO室内オーケストラ九州ソロ首席奏者。

ピアノ、トランペット

西江 辰郎

Tatsuo Nishie, Violin



©Razuhiko Suzuki

新日本フィルハーモニー交響楽団 コンサートマスター及び、久石譲 Future Band バンドマスター。幼少期より辰巳明子氏に師事し、桐朋学園ソリストデュプロマコース修了。スイスに留学しティボール・ヴァルガ氏に師事。メンソッドを継承する。室内楽を安永徹、市野あゆみ各氏に師事。2001年、仙台フィルのコンサートマスターに抜擢されSPC大賞、セレーノ弦楽四重奏団にて緑の風音楽賞、松尾音楽助成などを受賞。05年より新日本フィルコンサートマスターに就任し、ソリストとしてもクリスティアン・アルミンク、ギンター・ビヒラー、外山雄三、ダグラス・ボストーク、佐渡裕らの指揮のもと国内外のオーケストラと共演。ミッシャ・マイスキー、ジュゼッペ・アンダローロらとの室内楽や各地の音楽祭にも招かれている。マレーシア・フィルやNHK交響楽団にゲスト・コンサートマスターとして出演。16年「題名のない音楽会」にピアノの上原ひろみとゲスト出演。6弦エレクトリック・ヴァイオリンにて久石譲の「室内交響曲」のソリストを務め、世界初演。20年、21年にはHiromi Piano Quintetのメンバーとしてブルーノート東京にて「Save Live Music Returns」に出演。Fuji Rock Festivalへの出演や全国ツアーを行った。ディスコグラフィも多く、いずれも好評を博している。

ビルマン 聡平

Sohei Birmann, Violin



©Razuhiko Suzuki

兵庫県神戸市出身。東京藝術大学音楽学部を経て、スイス・ローザンヌ高等音楽院卒業。同大学院修士課程修了。ローザンヌにおいてSinfonietta de Lausanneのアカデミー課程修了。山本彰、工藤千博、澤和樹、清水高師、ビュール・アモイアルの各氏に師事。8歳で京都音楽コンクール金賞奨励賞。全日本学生音楽コンクール(中学の部)第3位入賞。日本演奏家コンクール優勝。YBP国際コンクール優勝。大阪国際コンクール第3位入賞。2016年入団。新日本フィル首席第2ヴァイオリン奏者。

富岡 廉太郎

Rentaro Tomioka, Cello



©Razuhiko Suzuki

1986年札幌市出身。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を経て、バーゼル音楽院 MASP を修了。チェロを上原典四郎氏、毛利伯郎氏、弦楽四重奏 Rainer Schmidt 氏に師事。2006年 ユーエルズ弦楽四重奏団を創立。2008年 ミュンヘン ARD 国際音楽コンクールクァルテット部門第3位。2014年6月から2017年3月まで、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団客員首席チェロ奏者を務める。2017年11月より、読売日本交響楽団首席チェロ奏者。

ヴァイオリン

ヴァイオリン

チェロ

浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5丁目3-2
朝日新聞東京本社 新館2階
TEL: 03-5541-8710

<< 電車でお越しの場合 >>

「築地市場駅」都営大江戸線 (A2出口) すぐ

※A2出口はエスカレーター、A3出口はエレベーターがございます。

「築地駅」東京メトロ日比谷線 (1、2番出口) より徒歩約8分

「東銀座駅」東京メトロ日比谷線 / 都営浅草線 (6番出口) より徒歩約8分

「汐留駅」都営大江戸線 (新橋駅方面改札口) / 新交通ゆりかもめ (改札口) より徒歩約10分

「新橋駅」JR (汐留口) / 東京メトロ銀座線 (1、2番出口) / 都営浅草線 (改札口) より徒歩約15分